

## 運用報告書 (全体版)

第13期<決算日2022年4月26日>

# 未来変革日本株ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2016年1月29日から2026年1月29日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主として、わが国の上場株式の中からイノベーションの創出やその支援を行うと考えられる日本企業の株式へ投資します。</p> <p>各種産業において、既存産業とIoTやAIに代表されるテクノロジーとの融合で、飛躍的な成長が期待できる分野に着目します。</p> <p>銘柄選定にあたっては、今後想定される、急速なビジネスモデルの変革の影響をより直接的に受けると考えられる企業に着目し、今後高い成長性が期待できる銘柄を中心に投資します。すでにイノベーションを生み出している企業に加え、今後画期的なアイデアや積極的なITの活用等により、生産性・収益力が大きく向上することが見込まれる企業にも投資します。</p> <p>株式の組入比率は原則として高位を保ちますが、株式市場の下落リスクが高いと考えられる場合等には、一時的に実質株式組入比率<sup>(*)</sup>を下げる場合があります。</p> <p>(*) 実質株式組入比率とは、現物株式と株価指数先物取引を合計した組入比率をいいます。</p>
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	決算日(原則として毎年4月および10月の各26日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：挑戦者たち

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「未来変革日本株ファンド」は、2022年4月26日に第13期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックス		株式組入率	株式先物率	純資産額
	(分配)	税込み	騰落率	(配当込み) (参考指数)	騰落率			
9期 (2020年4月27日)	円 12,247	円 0	% △4.9	ポイント 348.10	% △6.8	% 85.1	% 12.9	百万円 17,300
10期 (2020年10月26日)	16,381	35	34.0	417.17	19.8	89.0	9.4	16,452
11期 (2021年4月26日)	18,593	65	13.9	469.84	12.6	94.9	2.3	15,875
12期 (2021年10月26日)	18,176	0	△2.2	488.81	4.0	93.6	3.7	17,456
13期 (2022年4月26日)	13,690	0	△24.7	421.09	△13.9	73.4	9.4	13,355

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村證券株式会社およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村證券株式会社およびFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等ならびに当ファンドおよびRussell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックスに関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません（以下同じ）。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

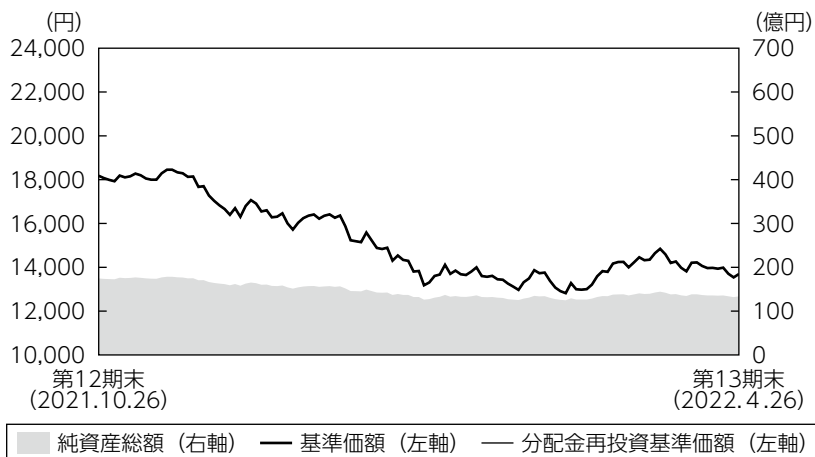
年月日	基準価額		Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックス		株式組入率	株式先物率
	騰落率	(配当込み) (参考指数)	騰落率			
(期首) 2021年10月26日	円 18,176	% -	ポイント 488.81	% -	% 93.6	% 3.7
10月末	17,926	△1.4	488.05	△0.2	93.6	3.7
11月末	16,833	△7.4	472.30	△3.4	93.1	3.7
12月末	16,263	△10.5	477.07	△2.4	94.8	4.9
2022年1月末	13,608	△25.1	423.12	△13.4	78.8	4.6
2月末	13,490	△25.8	425.52	△12.9	74.1	9.1
3月末	14,323	△21.2	439.22	△10.1	73.8	12.3
(期末) 2022年4月26日	13,690	△24.7	421.09	△13.9	73.4	9.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2021年10月27日から2022年4月26日まで）

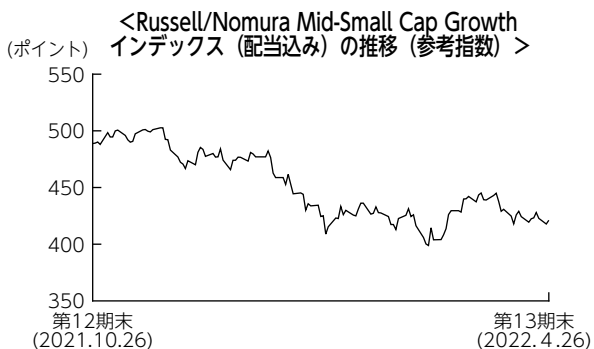
### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国が金融政策を引き締めにしたことを背景に、組入れていたエムスリーやラクスルなどの銘柄がマイナスに寄与したことなどから基準価額は下落しました。



## 投資環境

国内株式市場は、期前半は、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が広がったことや、米国の金融緩和策縮小に対する懸念などから上値の重い展開となりました。期の後半から、ロシアのウクライナ侵攻などを背景にリスク回避の動きが強まりましたが、当期末にかけては、停戦協議への期待の高まりや、日銀が金融緩和を維持する姿勢を示したことなどから下落幅を縮小しました。

## ポートフォリオについて

銘柄選択については、独力で成長を遂げると考える企業を中心に投資しました。銀行業、不動産業などのウェイトを引き上げた一方で、バリュエーションとリスク管理の観点から情報・通信業、卸売業などのウェイトを引き下げました。

## 【運用状況】 2022年4月26日現在

(注1) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 業種は東証33業種分類によるものです。

### ○組入上位10業種

#### 期首 (前期末)

No.	業種	組入比率
1	情報・通信業	33.7%
2	サービス業	18.7
3	電気機器	12.4
4	精密機器	5.5
5	不動産業	5.1
6	医薬品	3.6
7	鉱業	3.2
8	証券、商品先物取引業	3.1
9	卸売業	2.4
10	機械	1.6



#### 期末

No.	業種	組入比率
1	情報・通信業	24.5%
2	サービス業	14.1
3	電気機器	10.0
4	不動産業	5.9
5	精密機器	4.3
6	医薬品	3.7
7	銀行業	2.8
8	鉱業	2.1
9	空運業	1.6
10	証券、商品先物取引業	1.1

### ○組入上位10銘柄

#### 期首 (前期末)

No.	銘柄名	通貨	組入比率
1	エムスリー	日本・円	5.3%
2	GMOインターネット	日本・円	5.3
3	アンリツ	日本・円	4.0
4	サイバーエージェント	日本・円	3.8
5	ラクスル	日本・円	3.5
6	メドレー	日本・円	3.5
7	ベネフィット・ワン	日本・円	3.4
8	ペプチドリーム	日本・円	3.4
9	リクルートホールディングス	日本・円	3.3
10	INPEX	日本・円	3.2
組入銘柄数		114銘柄	

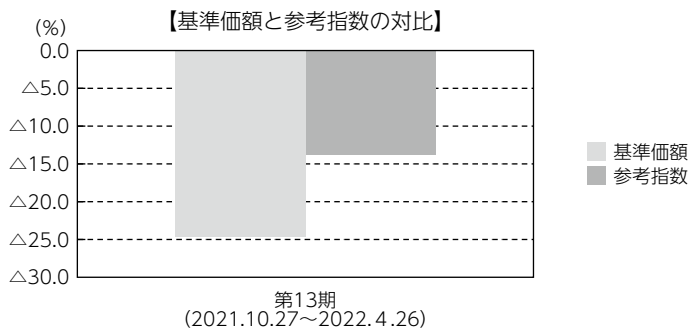


#### 期末

No.	銘柄名	通貨	組入比率
1	GMOインターネット	日本・円	4.8%
2	メドレー	日本・円	4.6
3	エムスリー	日本・円	4.2
4	パーク24	日本・円	3.5
5	ペプチドリーム	日本・円	3.5
6	朝日インテック	日本・円	3.3
7	エイチ・アイ・エス	日本・円	3.0
8	SCSK	日本・円	2.9
9	りそなホールディングス	日本・円	2.8
10	サイバーエージェント	日本・円	2.8
組入銘柄数		121銘柄	

## 参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるRussell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックス（配当込み）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年10月27日 ～2022年4月26日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	8,787円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

内外財政金融政策の変化に伴い、株式市場において全般にバリュエーション調整がすすんだことから、株価の上値余地が拡大してきたものと考えます。投資妙味のある銘柄を見極めて、中長期に渡り高い成長が期待される銘柄のオーバーウェイトを継続することに加え、来期業績の大幅回復が見込め、かつ割安感の生じた銘柄の発掘を行うことにより運用パフォーマンスの向上を図ります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第13期		項目の概要
	(2021年10月27日 ～2022年4月26日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	120円	0.790%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,174円です。
(投信会社)	( 58)	(0.384)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 58)	(0.384)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.046	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 7)	(0.045)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	127	0.836	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

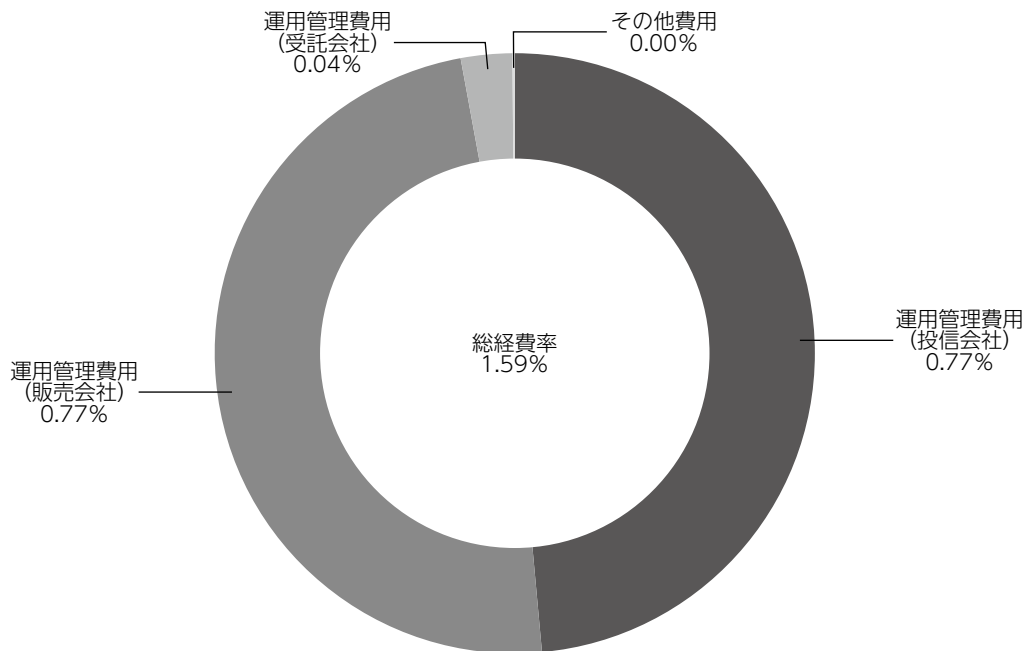
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## ■売買及び取引の状況 (2021年10月27日から2022年4月26日まで)

### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内 上 場		千株 2,131 (232.3)	千円 5,092,808 (-)	千株 3,102.3	千円 7,388,694

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

### (2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新 規 買 付 額	決 済 額	新 規 売 付 額	決 済 額
国 内	株 式 先 物 取 引	百万円 4,648	百万円 4,010	百万円 -	百万円 -

(注) 金額は受渡代金です。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	12,481,502千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	12,718,087千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)÷(b)	0.98

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

## ■利害関係人との取引状況等（2021年10月27日から2022年4月26日まで）

### (1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
株 式	百万円 5,092	百万円 53	% 1.1	百万円 7,388	百万円 196	% 2.7
株 式 先 物 取 引	4,648	4,648	100.0	4,010	4,010	100.0

### (2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	当 期
	買 付 額
株 式	百万円 71

### (3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	6,751千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	263千円
(B) / (A)	3.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

### (1) 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	千株	千株	千円	千円
<b>鉱業 (2.8%)</b>				
INPEX	557.3	187.7	274,980	
<b>食料品 (0.2%)</b>				
ユーグレナ	18.5	18.5	16,113	
<b>医薬品 (5.0%)</b>				
JCRファーマ	0.4	0.4	949	
そーせいグループ	—	11.2	14,190	
ペプチドリーム	213.1	219.8	463,118	
ヘリオス	25.5	14.9	11,115	
セルソース	—	0.1	394	
<b>石油・石炭製品 (—%)</b>				
出光興産	77.7	—	—	
<b>非鉄金属 (—%)</b>				
UACJ	10.6	—	—	
<b>機械 (1.3%)</b>				
日本製鋼所	—	0.3	1,051	
牧野フライス製作所	22.6	22.6	87,575	
ディスコ	4.4	0.1	3,210	
井関農機	1	—	—	
クボタ	16.8	16.8	36,464	
CKD	0.1	0.1	167	
<b>電気機器 (13.6%)</b>				
三菱電機	0.1	0.1	135	
安川電機	0.1	0.1	446	
日本電産	0.1	0.1	837	
アンリツ	331.1	172.2	278,964	
ソニーグループ	40.5	28.3	313,281	
TDK	12	—	—	
アルプスアルパイン	—	42.1	49,172	
アドバンテスト	—	0.1	852	
シスメックス	37.4	25.9	225,718	
ローム	1	1.7	15,504	
新光電気工業	—	9.8	56,350	
太陽誘電	—	3	15,420	
村田製作所	38.1	13.1	101,197	
SCREENホールディングス	—	3.8	40,660	
東京エレクトロン	—	4.2	233,646	
<b>輸送用機器 (0.0%)</b>				
SUBARU	0.1	0.1	194	
ヤマハ発動機	0.1	0.1	269	
ジャムコ	0.1	0.1	78	
<b>精密機器 (5.9%)</b>				
日機装	—	0.1	79	
トプコン	161	29.4	49,127	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額
	千株	千株	千円	千円
HOYA	7	7	89,915	
朝日インテック	170	170	438,430	
CYBERDYNE	44.5	—	—	
<b>その他製品 (0.6%)</b>				
パラマウントベッドホールディングス	30	30	63,090	
<b>電気・ガス業 (0.0%)</b>				
レノバ	0.1	0.1	152	
<b>陸運業 (0.0%)</b>				
東急	50	0.1	161	
<b>海運業 (0.5%)</b>				
日本郵船	11	5.1	47,481	
<b>空運業 (2.2%)</b>				
ANAホールディングス	39.8	90.3	219,699	
<b>倉庫・運輸関連業 (0.0%)</b>				
三井倉庫ホールディングス	0.1	0.1	235	
<b>情報・通信業 (33.3%)</b>				
出前館	36.3	36.3	20,037	
グリー	9.7	60.8	64,204	
アイスタイル	103.3	93.3	15,207	
セレス	60.6	62.9	94,350	
GMOペイメントゲートウェイ	1	0.1	1,096	
インターネットイニシアティブ	7.1	7.1	28,435	
GMOグローバルサイン・ホールディングス	3.2	—	—	
クラウドワークス	40.1	40.1	44,150	
アカツキ	3.3	0.1	302	
チェンジ	24.5	24.9	45,791	
ユーザベース	72.1	82.9	66,983	
PKSHA Technology	—	12.9	24,587	
マネーフォワード	—	5.5	24,887	
カラダノート	0.1	0.1	88	
SUN ASTERISK	0.1	0.1	171	
ニューラルポケット	0.1	0.1	134	
ベイシス	15.1	9.9	29,363	
プラスアルファ・コンサルティング	23.1	0.1	227	
プレイド	14.9	23.4	30,186	
ヤプリー	19.5	20.2	37,168	
ENECHANGE	12.2	19.8	12,394	
アピリッツ	0.3	—	—	
ココナラ	0.1	—	—	
APPIER GROUP	2.4	—	—	
スパイダープラス	6.6	4.9	3,052	
ビジョナル	57	28.4	213,284	
サインド	—	1.7	3,128	
セキュア	—	0.1	103	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価	額
	千株	千株	千円	
シンプレクス・ホールディングス	18.2	—	—	
セーフィー	8.8	14.6	15,651	
くふうカンパニー	8.6	8.6	3,018	
ワンキャリア	0.4	0.2	479	
C I N C	0.2	1.3	2,015	
ラクスル	99.6	68	191,216	
メルカリ	0.1	59.9	136,452	
チームスピリット	13.3	13.3	6,078	
Finatextホールディングス	—	82	51,332	
スマレジ	38.8	25.4	26,771	
カオナビ	12.8	19.9	44,337	
トビラシステムズ	46.5	46.5	37,897	
S a n s a n	39.6	127.7	172,139	
CHATWORK	3.1	20.9	10,617	
HENNGE	35.5	53.9	60,421	
B A S E	263	66.2	25,023	
マクアケ	2.3	10.6	21,019	
メドレー	177.4	238.9	612,539	
ランサーズ	0.1	—	—	
スペースマーケット	22.2	16.2	8,650	
大塚商会	0.1	0.1	425	
サイボウズ	0.5	—	—	
GMOインターネット	298.3	247.3	637,044	
KADOKAWA	—	0.1	318	
S C S K	193.2	188.2	389,950	
ソフトバンクグループ	81.9	10.8	56,106	
<b>卸売業 (0.7%)</b>				
双日	188.7	35.5	68,941	
シップヘルスケアホールディングス	20.2	—	—	
<b>小売業 (0.5%)</b>				
マツキヨココカラ&カンパニー	0.1	0.1	424	
HYUGA PRIMARY CARE	—	0.2	1,190	
いつも	0.5	0.5	652	
日本瓦斯	33	33	50,061	
ニトリホールディングス	0.1	0.1	1,353	
<b>銀行業 (3.9%)</b>				
三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.1	0.1	74	
りそなホールディングス	0.1	677.3	379,423	
三井住友フィナンシャルグループ	0.1	0.1	389	
<b>証券、商品先物取引業 (1.5%)</b>				
GMOフィナンシャルホールディングス	4	4	3,232	
S B Iホールディングス	55.5	23.1	66,181	
マネックスグループ	454.6	129.1	78,234	
<b>保険業 (0.3%)</b>				
ライフネット生命保険	59.5	63.9	33,419	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	評 価	額
	千株	千株	千円	
<b>その他金融業 (0.3%)</b>				
ネットプロテクションズホールディングス	—	44.9	30,307	
<b>不動産業 (8.0%)</b>				
いちご	670	670	192,290	
ツクルバ	83.8	85.9	50,852	
ヒューリック	66.7	59.7	64,893	
パーク24	276	256	468,224	
東京建物	—	5.9	10,566	
住友不動産	0.1	0.1	338	
<b>サービス業 (19.2%)</b>				
パーソルホールディングス	22	15	38,550	
ベネフィット・ワン	105.5	75.9	157,113	
エムスリー	126.6	126.6	556,280	
ラウンドワン	0.1	0.1	144	
サイバーエージェント	333	273	374,010	
エン・ジャパン	0.1	0.1	316	
アドベンチャー	—	11.6	108,112	
リクルートホールディングス	77	48.6	237,022	
ライトアップ	0.1	0.1	269	
フォースタートアップス	0.6	0.6	1,582	
グッドパッチ	0.5	0.5	816	
R E T T Y	21.5	19.9	7,104	
Enjin	0.1	—	—	
サーキュレーション	0.1	—	—	
エイチ・アイ・エス	166.7	179.9	404,954	
共立メンテナンス	—	0.1	463	
藤田観光	—	0.1	234	
		千株	千株	千円
合 計	株 数 ・ 金 額	6,566.4	5,827.4	9,807,297
	銘柄数 < 比率 >	114銘柄	121銘柄	< 73.4% >

(注1) 銘柄欄の( )内は、期末の国内株式評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

## (2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
国内	百万円	百万円
T O P I X	1,256	—

## ■投資信託財産の構成

2022年4月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	9,807,297	72.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,687,133	27.3
投 資 信 託 財 産 総 額	13,494,430	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月26日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	13,494,430,533円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,468,647,660
株 式(評価額)	9,807,297,380
未 収 入 金	179,428,050
未 収 配 当 金	49,967,443
差 入 委 託 証 拠 金	△10,910,000
(B) 負 債	139,308,113
未 払 金	1,378,509
未 払 解 約 金	21,628,192
未 払 信 託 報 酬	116,186,937
そ の 他 未 払 費 用	114,475
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	13,355,122,420
元 本	9,755,366,221
次 期 繰 越 損 益 金	3,599,756,199
(D) 受 益 権 総 口 数	9,755,366,221口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	13,690円

(注) 期首における元本額は9,603,853,956円、当期中における追加設定元本額は874,506,399円、同解約元本額は722,994,134円です。

## ■損益の状況

当期 自2021年10月27日 至2022年4月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	67,097,497円
受 取 配 当 金	67,022,449
受 取 利 息	3,390
そ の 他 収 益	226,981
支 払 利 息	△155,323
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△4,017,143,538
買 入 損 益	529,998,841
売 出 損 益	△4,547,142,379
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△24,477,742
取 引 損 益	107,051,061
取 引 損 益	△131,528,803
(D) 信 託 報 酬	△116,301,412
(E) 当 期 損 益 金(A + B + C + D)	△4,090,825,195
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	4,961,109,900
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,729,471,494
(配 当 等 相 当 額)	(3,295,213,088)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△565,741,594)
(H) 合 計(E + F + G)	3,599,756,199
次 期 繰 越 損 益 金(H)	3,599,756,199
追 加 信 託 差 損 益 金	2,729,471,494
(配 当 等 相 当 額)	(3,295,213,088)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△565,741,594)
分 配 準 備 積 立 金	5,277,222,684
繰 越 損 益 金	△4,406,937,979

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経 費 控 除 後 の 配 当 等 収 益	0円
(b) 経 費 控 除 後 の 有 価 証 券 売 買 等 損 益	0
(c) 収 益 調 整 金	3,295,213,088
(d) 分 配 準 備 積 立 金	5,277,222,684
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a + b + c + d)	8,572,435,772
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	8,787.41
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。